

駒ヶ根市立小中学校 外国語指導助手（A L T）派遣業務 仕様書

駒ヶ根市教育委員会 子ども課

1 件名

令和 7 ・ 8 年度 駒ヶ根市立小中学校 外国語指導助手（A L T）派遣業務

2 目的

本業務は、駒ヶ根市内の小中学校に外国語指導助手（A L T）を派遣し、児童・生徒が外国語や外国の文化に触れる機会を提供することにより、文部科学省が示す学習指導要領に基づき、言語活動を通して、児童・生徒のコミュニケーションを図る資質・能力を育成するとともに、駒ヶ根市における国際理解教育の推進を目的とする。

3 派遣箇所

No.	学校名	学級数	住所	電話番号
1	赤穂東小学校	1 6	駒ヶ根市飯坂 1 丁目 19 番 1 号	0265-83-7155
2	赤穂南小学校	1 6	駒ヶ根市赤穂 8915 番地 1	0265-81-5700
3	赤穂中学校	2 4	駒ヶ根市赤穂 4704 番地	0265-83-3161
4	東中学校	1 0	駒ヶ根市東伊那 966 番地 1	0265-83-4014

※学級数は、令和 7 年度の通常学級・特別支援学級の合計（見込）

4 履行期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日まで

5 派遣人数

2 名とする。

ただし、就業する学校は駒ヶ根市教育委員会と調整の上決定する。

6 支払方法

令和 7 ・ 8 年度の支払いについては、年度ごと受託者の請求により支払うものとする。

支払い回数については、協議により決定する。

7 外国語指導助手（A L T）の業務体制

（1）派遣日は、駒ヶ根市教育委員会が作成する派遣日程表に基づき、原則月曜日から金曜日までとする。

（2）勤務時間は、8 時 1 5 分から 1 6 時 4 5 分とし、休憩時間は 4 5 分間とする。

- (3) 休日は、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末年始（12月29日から1月3日までの日）、就業場所の休日とする。ただし、就業場所や派遣元の行事や研修等により事前に双方の合意がある場合は、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末年始（12月29日から1月3日までの日）、就業場所の休日を就業日とすることができる。
- (4) 派遣元より付与された年次有給休暇を取得する際は、事前に派遣元から就業場所の責任者に申し入れること。
- (5) 就業場所の計画に準じて業務を実施し、授業参観、学校行事、その他必要に応じて行う。
- (6) 昼食は、学校給食とすることができる。ただし、費用は自己負担とする。

8 外国語指導助手（ALT）の業務内容

- (1) 外国語及び国際理解教育に関する授業の補助指導業務、企画及び支援、教材開発及び情報の提供
- (2) 担当教諭等と指導内容、方法等についての事前打ち合わせ
- (3) 学校行事への参加、協力
- (4) 外国語及び国際理解教育に関する教職員研修の補助
- (5) 特別活動及び部活動等への参加、協力
- (6) 学校生活における児童・生徒との積極的な交流
- (7) 公民館活動等、地域における外国語及び国際交流に係わる活動への協力（授業に支障のない範囲で行うこと）
- (8) その他、外国語及び国際交流、国際理解教育に係わることの指導、対応
- (9) 上記のほか、駒ヶ根市教育委員会と派遣元が協議し合意した業務

9 外国語指導助手（ALT）の資格要件

- (1) 業務履行にあたり、所持すべき有効かつ適正な種別の就労査証を有すること。
- (2) 心身ともに健康であること。
- (3) 英語を母語または公用語とする国の出身で、英語圏のネイティブスピーカーと同等の英語力を有すること。
- (4) 大学以上または同等の卒業資格を有すること。
- (5) 授業の打ち合わせや日常会話ができる程度の日本語力を有すること。
- (6) 英語及び外国語活動の指導力と熱意を有すること。
- (7) 日本の教育制度、学習指導要領や日本の公立小中学校のカリキュラムを理解していること。
- (8) 教職員や児童生徒と積極的にコミュニケーションを図り、協調性があること。
- (9) 学校教育に携わる者に適していること。

(10) 職務専念義務、守秘義務を履行できること。

10 派遣元の資格要件

- (1) 長野県内の自治体において、外国語指導助手（ＡＬＴ）派遣実績を３年以上有していること。
- (2) 労働者派遣法に基づく労働者派遣事業の許可を得ていること。

11 派遣元の業務

- (1) 市内小中学校への外国語指導助手（ＡＬＴ）派遣業務
- (2) 上記（１）の業務を円滑に履行するために必要な次の業務
 - ① 駒ヶ根市担当コーディネーターの選任
 - ② 駒ヶ根市教育委員会、学校、外国語指導助手（ＡＬＴ）との連絡調整
 - ③ 駒ヶ根市コーディネーターによる学校訪問と、外国語指導助手（ＡＬＴ）に対する適切な指導体制の構築と指導の実施、外国語指導助手（ＡＬＴ）の業務遂行状況の把握及び評価、監督
 - ④ 外国語指導助手（ＡＬＴ）の業務遂行に必要な研修（学習指導要領に基づく外国語活動・外国語教育のねらいと指導カリキュラムの理解、日本人教師とのチーム・ティーチングの進め方、日本語でのコミュニケーションや打ち合わせの行い方、各校の外国語教育の目標や小中連携を意識した授業の進め方、派遣講師以外の駒ヶ根市立小中学校で就業する外国語指導助手（ＡＬＴ）を含めた指導力向上のための研修等）の実施
 - ⑤ 学校への定期的ヒアリング、アンケートの実施
 - ⑥ 外国語指導助手（ＡＬＴ）に係る学校からの要望や苦情等への対応
 - ⑦ 上記①～⑥についての報告及び報告書等の提出
 - ⑧ 外国語指導助手（ＡＬＴ）の勤務管理及び欠勤・遅刻等がある場合の教育委員会及び学校への事前報告
 - ⑨ 外国語指導助手（ＡＬＴ）が学校の指揮命令に忠実に従い、学校の規律、施設管理上の規則等を遵守するための適切な措置
 - ⑩ 外国語指導助手（ＡＬＴ）への指導方法等の助言及び、教材の準備や作成に係る支援
 - ⑪ 学校への教材や学習プログラムの提供
 - ⑫ 派遣法により派遣会社に義務付けられている諸手続き

12 服務

派遣元は、外国語指導助手（ＡＬＴ）に、その職務を遂行するに当たって、派遣先指揮命令者の指揮命令に従わせるものとする。

- (1) 就業時間（休憩時間を除く）においては、注意力の全てをその職務の遂行のために用いなければならない。
- (2) 派遣先及び派遣された市立学校の信頼を失墜するような行為をしてはならない。
- (3) 仕事上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。職を退いた後も、また同様とする。
- (4) 就業時間中に、宗教活動又は政治活動を行ってはならない。

13 派遣元の遵守事項

派遣元は、派遣業務を円滑に遂行するために、外国語指導助手（ＡＬＴ）の職務に係る一切の業務に誠意を持って遂行し、次の各号に定める事項について遵守する。

- (1) 派遣元は、本業務の契約締結に際し、一般労働者派遣事業又は特定労働者派遣事業の許可を受けている事業主であることを書面により派遣先に提出する。
- (2) 外国語指導助手（ＡＬＴ）に対する研修等を実施し、指導技術の向上を図るとともに、児童・生徒の人権擁護等に関する教育にも十分留意する。
- (3) 学期ごとに外国語指導助手（ＡＬＴ）の業務評価（業務態度、指導技術等）を行い、その結果に基づいて指導改善に努め、研修内容を見直すなど、安定した質の高い教育を提供する。

なお、業務評価は派遣先に報告するとともに、今後の外国語指導助手（ＡＬＴ）の指導力向上のための方策もあわせて提示する。

- (4) 外国語指導助手（ＡＬＴ）の傷病その他やむを得ない理由があり、交替が必要であると判断した場合には、速やかに駒ヶ根市教育委員会及び就業する学校に連絡するとともに、交替による新たな外国語指導助手（ＡＬＴ）に必要な教育訓練を行い、就業する学校の業務遂行に支障がないようにしなければならない。
- (5) 緊急の事態が発生した場合、直ちに電話等により就業する学校及び駒ヶ根市教育委員会に連絡するとともに、業務が円滑に履行できるように対処する。また、その状況を、遅滞なく書面をもって駒ヶ根市教育委員会に報告する。

14 派遣元責任者及び派遣先責任者の選任

派遣業務を円滑に遂行し、遵守事項に反することがないような適切な措置を講じるため、派遣元と派遣先においてそれぞれ責任者を選任する。

15 外国語指導助手（ＡＬＴ）からの苦情の処理

外国語指導助手（ＡＬＴ）からの苦情の申し出を受ける者は、選任した派遣元及び派遣先責任者とし、誠意を持って遅滞なく、当該苦情の適切かつ迅速な処理を図り、その結果を当該外国語指導助手（ＡＬＴ）に通知する。

なお、派遣元及び派遣先は、その解決が容易であり、自ら即時に処理した苦情の他は相互に遅滞なく通知するとともに、その結果について必ず当該外国語指導助手（ＡＬＴ）に通知

することとする。

16 その他

- (1) 派遣契約金額には、給与、管理費（法廷福利等各種保険含む）、渡航費（査証等も含む）、赴任費、住宅費、通勤交通費、研修等に要する経費は全て含むものとする。
- (2) 職務上の災害または通勤による災害に対する補償については、派遣元の定めるところによるものとし、損害賠償等が発生した場合は協議の上決定する。
- (3) 派遣先は、外国語指導助手（A L T）が派遣業務の遂行にあたり、著しく適性を欠くと判断した場合は、派遣元に対し、外国語指導助手（A L T）の変更を請求することができる。
- (4) 派遣元は、外国語指導助手（A L T）の故意または過失により、児童、生徒、教職員に損害を与えたときはその損害を賠償する。
- (5) 本仕様書に定めのない事項が生じた場合は、必要に応じて派遣先及び派遣元が双方協議のうえ、これを定めるものとする。